

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

10月22日 木曜日

2020年(令和2年)

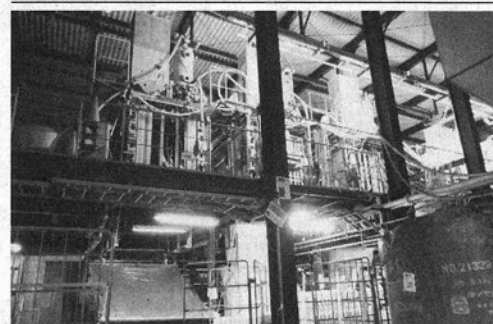
龍野コルク、本社工場再編

発泡スチロール3棟に集約

【姫路】龍野コルク工業(兵庫県たつの市、片岡孝次社長、0791・63・1301)は、本社工場を再編する。2020年11月末までに5棟ある発泡スチロール製造工場を3棟に集約し、敷地内の物流を改善する。生産効率化を実現する付帯設備も追加する。投資額は約4000万円。地道な営業活動で受注量が増えており、生産拡大に備える。発泡スチロールの生産能力は現状比3割拡大する見通しだ。

生産能力3割アップ

本社敷地内に発泡スチロールが建屋5棟に分散しているが、成形機や操



とで効率的な生産体制を築く。現在、集約先の建屋では移管に向けて改修工事が進んでいる。空いた建屋は倉庫などに活用する。

また一部成形機において、個々に付帯していた従来の冷却装置から1ユニットの集中冷却システムに変更

する。これにより成形時間短縮と省エネルギーを実現する。

龍野コルク工業は1958年設立。住宅用断熱材を主力に食品用保冷保管容器、自社商品のビーズクッションなど発泡スチロール製品を手がける。コロナ禍の内食需要で食事容器の受注が増えているほか、取引先の課題解決を図る提案型営業で仕事が増えており今後の受注増が見込めるという。

増産投資の一方で、同社では徹底した製造原価の低減と成形サイクルの短縮化を進めている。生産性向上により、継続的な経常利益率5%達成を目指す。